

# はばたき

題字揮毫・林 眞晟

2025年  
02月号

vol.571

発行責任者 磯崎節男  
編集 小竹祐二

一九七七年十二月日第三種郵便物認可  
二〇二五年二月十六日発行（毎月十八日発行）二・三・五・六・七の日発行  
SSKP通巻八六一九号

基本理念 障害者の自助自立を支援する。  
経営理念 社会福祉法人としての使命を自覚し誇りを持って実践する。

発行：社会福祉法人 八千代市身体障害者福祉会 八千代市米本 2429-10 TEL 047-488-8813 FAX 047-488-8384  
印刷：障害福祉サービス事業所 はばたき職業センター

それぞれ思いを胸に、香取神宮へ初詣に出かけてきました（詳細は2面に掲載）



悠々堅歩

日常に季節を感じながら

## ローズ句会

ローズ句会は月一回第二水曜日、午後1時から八千代市福祉センターで活動しています。

俳句は季語を含み、五・七・五の十七音の限られた音数の中に思いや情景を入れて詠みます。

季語は歳時記に従い、春は二月の立春から、夏は五月の立夏から、秋は八月の立秋から、冬は十一月の立冬から、新年の季語もあります。

では私たちの句会の様子を紹介しましょう。各自六句の俳句を提出し、ランダムに清記します。毎月六十句位から選句用紙に五句（内一句は恭鳴句）記入します。取り上げられた句は、披露担当が読み上げます。取り上げた方は感想を述べます。作者の思いと同じであったり、より深く読み込んだり、又別の感じ方をしたり、時にはその句から少し外れて話が盛り上がりりややかに句会は進みます。

先生からは並選を多く頂き、恭鳴句は三〜四句です。恭鳴句を頂いた方は心の中で「やったー」と喜んでいると思います。先生から良い点や、言葉の使い方などを添削して頂き、一字変わっただけで見違えるように、すっきりとした句に生まれ変わります。最後に作者が名乗ります。

生活の中でちよっとした感動を十七音に込める俳句は「生涯の友」です。



# 日帰り旅行

【日帰り旅行】

晴天に恵まれた1月17日(金) 初詣を兼ねた「香取神宮」への日帰り旅行に出かけてきました。1年ぶりの旅行には、八千代市ふくしバス、福祉車輛2台の合計3台38名を乗せ、出発しました。

9時、八千代市内を出発し、バスは一路、最初の目的地である「香取神宮」へと向かいました。車中、自己紹介を行うと外出の機会を楽しみにしていたと言葉が多かった一方で、地元の名物も楽しみだ!との声も多くありました。参加者一人ひとりそれぞれの思いがたくさ詰まっています。



ほぼ予定時間に到着し、参加者は国の指定重要文化財でもある境内を目指しました。駐車場から200mくらいの未舗装の参道を上り、疲れがピークに達するとなんと目の前に大きな階段が!最後の力を振り絞って上がり、やっとのことでお参りができました……神社は平日にもかかわらず大勢の参拝者が溢れていました……

参拝が終わり次の目的地は水の郷さわら道の駅・川の駅で昼食と買い物……ここでは違う車輛に乗っている参加者と久しぶりの再会をした方も多かったようです。みんなお腹いっぱい食べて、たくさん話をして、両手いっぱい買い物を楽しめました。アンケートでも普段なかなか外出できない、家族以外の仲間と一緒に出掛けるのは本当につれいとの意見が多く、今後も継続して企画していきます。次回も元気な姿で会いましょう……

## 手話言語等条例 5周年イベント

【手話言語条例イベント】開催!

1月25日(土)、八千代市福祉センターにて、「八千代市手話言語等条例制定5周年記念イベント」が開催されました。

この条例は、八千代市に数ある条例の中でも前文があるめずらしいもの。理念条例として本会・市ろう協や手話サークルが原案づくりに携わり手話を始めとする言語の歴史に拘り、その歩みを記載してほしいと八千代市へ要望し、その前文が実現しました。それ故、条例に対する思い入れも強く制定後5年を経過する中で八千代市と本会が共催でイベントを開催することができたことへの感慨もひとしおでした。

当日は、主催者挨拶として登壇した深い井副市長、本会機崎理事長、そしてお忙しい中、駆けつけて頂いた末永市議会議長、小林衆議院議員や市議の皆さんが自己紹介を手話で表現。開会式にふさわしい場面となりました。

その後、川根紀夫さん(元順天堂大学非常勤講師・元佐倉市社会福祉部長)から「手話言語等条例制定後の啓発について」と題して講演を頂き、啓発に向けては行政や本会、ろう者との協働が必要とお話がありました。



イベント後半は、市ろう協の竹本真悟さんから来年東京で開催されるデフリンピック(耳の聞こえないアスリートのオリンピック)のことや手話表現をクイズ形式で出題して頂き、参加者が楽しく手話を学ぶ機会となりました。条例制定後、市民や関係者が一堂に会する初めてのイベントでしたが、本会としても、改めてこれを機に引き続き行政と連携を図り条例の啓発を通じ、手話言語や「コミュニケーション」手話への理解が進み誰もが住みやすい八千代市となるよう力を尽くしていきたいと思う一日となりました。

# はばたき 歳時記

★印刷のご注文お待ちしております

年度末に向けて各種印刷物のご注文を承ります。自治会の議案書・名簿・総会資料などお見積もり致しますので、ご相談ください。その他広報紙・チラシ・パンフレット・名刺・封筒・はがき等、皆さまからのご用命をお待ちしております。

★おいしい野菜を作っています!

今年天候不順などの影響により野菜が高騰しています。そんな中、はばたき園芸科でも例年人気のサツマイモやサトイモをはじめ年間通じてたくさん種類の野菜を敷地内の畑で栽培しております。そしてこの時期が一番おすすめの野菜が春を感じさせてくれる「菜の花」です。食用の菜の花は別名「なばな」「はなな」などと呼ばれ形は全く違いますがキャベツやブロッコリーと同じアブラナ科の野菜になります。そして「ビタミン」や「ミネラル」など栄養価も非常に高く、辛み成分の「イソチオシアネート」による免疫力アップや食物繊維がたくさん含まれているので腸内環境を整えてくれる健康野菜です。一般的な料理法としておひたしや和え物、中にはパスタや中華炒め・天ぷらなど様々な料理に使えます。1月下旬〜3月下旬に福祉センター前を中心に販売しておりますのでご興味のある方は是非お立ち寄りください。

【お問い合わせ】はばたき職業センター

電話 047-4888-8813  
FAX 047-4888-8384

# 一月の足跡

## ◇ 新年交流会

1月31日(金) 障害者福祉センターで新年交流会を行いました。参加者は18名で当日はオカリナサークルの方を招き演奏と合唱を楽しみました。ウクレレとオカリナの美しいハーモニーに参加者の歌声を乗せて楽しいひと時になりました。

演奏後は景品をかけて6人1チームになり、決められた範囲でストップウォッチを止めるリレーを行いました。各チームでイライラ・ハラハラしながら盛り上がりました。

ゲームの後は参加者全員で交流会を行いました。一人ひとりが今年の抱負を発表しました。今年1年病気やケガをしないで健康に過ごしていきたいとの抱負が多く聞かれました。2025年も1年間、健康に楽しく過ごしていきたいましよう。



## ◇ 筆談会

1月27日(月)の活動は、「字幕で楽しむ上映会」と題して音量を少し下げた字幕で邦画を楽しみました。上映後、幼稚園のころ皆で銭湯に行ったことを思い出して懐かしかった。出演していた穴戸開さんの朗読会を最近見に行つたところ字幕もスムーズに読めた！などと楽しんでいただけようです。邦画の字幕付も少しずつ増えているようですが、上映回数や上映館はまだまだ少なく、予約が必要などところもあり、すぐに楽しめる状況ではありません！字幕や音声ガイド付の映画がもっと気軽に観られるようになるといいですね！

## ◇ 災害対応訓練……

1月16日(木) 令和6年度八千代市災害対応訓練に協力させていただきました。具体的には県北西部直下地震・震度6強を想定し、医療的ケア児とそのご家族を福祉避難所に福祉車輛で移送する訓練…… まだまだ電源やスペースなど様々な課題はあると思いますが、安心できる街になると良いですね！

## 身障相談

毎月末、金曜日を身障相談日と設定し、日々の悩みを共有できる場としています。相談員は障害当事者に担当していただいております。ぜひ活用下さい。  
※現在新型コロナウイルスの感染状況から連絡は「きらめき支援センター」へ

# わたしの暮らし

## 視覚障害者にとっての色の存在とは？

視覚障害者は色をどう認識しているのか…… 色の話をしてはいけないのではないのか…… 今回はそんな疑問にお答えします。

視覚障害者の中でも、弱視の人の多くは色を認識でき、全盲でも弱視だった、あるいは中途視覚障害の人は色を見た経験があるので、記憶に残っていることも多いです。問題は、生まれつき全盲の場合です。色を見たことがないので、イチ

# 手話にふれてみよう！

「は赤、豆腐は白というように一つ一つ知識として覚えていくしかありません。では、色の話をしてはいけないかというと違います。中途視覚障害者の場合、記憶があれば色や風景などを伝えることで会話のきっかけになることもあるようです。また、色を見た経験がない人も、興味がある物と結びつけるなどして、色の接点を少なからず持つことができます。いずれも個人差があることですが「色の話をしてはいけない」のではなく「会話が続けなければ話題を変えれば良い」だけなのです。

## 手話は言語です！ 災害編

八千代市手話言語・障害者コミュニケーション条例 令和元年9月30日施行



### 手伝う

左手の親指を立て、親指の背を右手の手のひらで前に2回たたきます。

きらめき支援センター 手話通訳者設置事業

FAX/TEL 047-485-8822

E-mail: hukusikai.setti@kind.ocn.ne.jp

八千代市身体障害者福祉会 Facebook → 動画を選択 (動画協力: 八千代市聴覚障害者協会・手話サークル)



# 福祉 あら カルト情報

## ★要約筆記ってなに？

### 要約筆記体験講習会参加者募集！

中途失聴者や聞こえにくい人たちへの情報提供手段の一つに「要約筆記」というものがあります。外見からではわかりにくい「聞こえない・聞こえにくい」人たちをとりまく状況を理解し、声を目で見える文字にする「要約筆記」を体験してみませんか

日時 3月17日(月) 13時半～  
場所 市福祉センター4階 研修室  
定員 10名(先着順)  
参加費 無料  
申込み FAX/TEL 485・8822

## ★『筆談会』のお知らせ！

要約筆記支援などに関心のある方、支援を学びたい方、はじめての方でも大歓迎です！聞こえづらくなってきた人、中途失聴の人の参加もお待ちしております。みんなで楽しい時間を過ごしましょう。

日時 3月24日(月) 13時半～  
場所 市福祉センター4階 会議室

## ★ガイドヘルパーを募集しています！

きらめき支援センターでは視覚障害者の移動などを支援するガイドヘルパーを募集しています。又これから「同行支援従事者養成研修」を受講し、視覚障害者の移動などの支援を希望している方は、是非ご相談ください。

## ★第3回千視協視覚障害者向け福祉機器展

触れて聞いて・参加して・相談して「More convenient life」も「便利な生活」をテーマに、見えない、見えにくい方の生活がもっと便利になるための展示会が開催されます。

日時 4月19日(土) 11時～15時  
場所 視覚障害者総合支援センターちば 四街道市四街道1-9-3  
その他 JR四街道駅北口より徒歩5分  
駐車場は無(※近隣のコインパーキングをご利用ください)  
問合せ 視覚障害者総合支援センターちば TEL 043・420・8763

## ★キッズフエスタ2025

子どもの福祉用具展アンダー18が開催されます。遊具や訓練具、車椅子にバギー、アイデアグッズなど子どものための展示会です。

【第24回東京会場】  
日時 4月19日(土) 10時～17時  
4月20日(日) 10時～16時  
場所 TRC東京流通センター 第一展示場A B C Dホール  
※東京都大田区平和島 6-1-1

※詳細は「キッズフエスタ」で検索してください

きらめき支援センター  
本紙の問合せ・情報提供・行事申込は、  
身障福祉会・きらめき支援センター  
TEL 485・1245  
FAX 485・1329 まで



## ●「事業所のあり方とは何か？」

今年特別支援学校高等部を卒業するお子さんの件で相談を多く受けている。ご家族より「生活介護事業所を検討しているが希望したい事業所は既に定員が埋まっている、どうしたらいいのかわか？」との内容である。

八千代市内には、身体障害者に特化した生活介護事業所は3カ所しかない。選択肢が少ない中、各事業所のサービス内容も異なっている。「介護職員が常に数人いて入浴サービス、送迎が可能で看護師がいる生活介護事業所」、一方「介護は想定していなく、看護師も常勤でなく送迎ができない」などだ。極端な二極化だ。そのため、前者の事業所を希望する家族が多くなるのは、必然だ。また、家族に「自分の子を支援してもらおうならどちらの施設にお願いしますか？」と質問を受けたことがある。この質問を受け私自身、意味を深く支援者側は、考えないとならない。そのためには、普段から関係機関と連携を図り自身の目で施設を利用している利用者の表情や声を拾い上げ希望に添わなければならないと強く感じた。

## 今月の動き

- 《2月》
- 17日 輝く未来会  
地域生活支援はばたき編集委員会  
福祉センター利用団体会議  
派遣通訳者学習会
- 20日 派遣通訳者学習会
- 22日 視覚障害サポート講座(毎週)
- 25日 事業関連連絡会議  
法人指導監査
- 26日 ガイドヘルパー会議
- 27日 書道講座
- 28日 笑顔のつどい
- 《3月》
- 1日 視覚障害サポート講座(毎週)(22日閉講)
- 4日 派遣通訳者会議
- 14日 ケアマネ・相談支援員交流会
- 16日 千葉県知事選挙

## 福祉会実績報告

- 福祉有償運送事業 2件
- ガイドヘルパー 派遣事業 158件
- 車イス貸出事業 6件
- 手話通訳者等派遣事業 (手話51件・要約6件) 57件
- 施設見学・実習者受入 2人

## 集後

私の立場上、様々な会議に参加する機会がある中、考えさせられることは会議の場で検討する必要は感じるが、それ以上に、現場で悩みを抱えている専門職やご家族にどこまで寄り添うことが出来るのか……いま困っている障害当事者やそのご家族はもっと困っているはずではないか……スピーディーさが求められていると感じるのは自分だけだろうか……



このお報紙は5MPではばたき職業センターで印刷しております  
印刷・編集の運用はせり『はばたき職業センター』まで!!